

# 病棟にも薬剤師がいるのをご存知ですか？

病院の薬剤師の仕事についてどういう印象をお持ちでしょうか。「医師が出した処方せんから薬をつくる」、「お薬渡し口で薬の説明をする」といった答えが殆どなのではないかと思います。

今、薬剤師の仕事は大きく変わってきています。調剤室で薬をつくる事はもちろん、使用する注射薬を毎日患者さん毎に用意する、ベッドサイドで入院患者さんへ薬の説明をする、注射用の抗がん剤の調製をする等、様々な仕事をしています。

その中で、当院では今年3月から各病棟に専属の薬剤師を配置する「薬剤師の病棟常駐」業務を開始しています。



## 病棟常駐薬剤師は何をしているの？

- \* 入院患者さんの飲み薬や外用薬が、医師の指示通りに用意されているかチェックします。足りない薬があったり、指示と違う薬が処方されていたときには、主治医や担当看護師に連絡し、常に正しい薬が患者さんに渡るようにしています。
- \* 入院患者さんが今まで使用していた薬で、副作用やアレルギーがなかったか調査したり、現在使用している薬に問題はないか検討した上で、薬の飲み方や注意事項を患者さんに直接説明しています。
- \* 病棟で使用される薬が、正しく保管されているか確認しています。



## 病棟常駐薬剤師はいつ病棟にいるの？

- \* 以下の時間帯にそれぞれの病棟に配置されています。

病棟	配置時間(平日のみ)
3東病棟(12月中旬より)	9:00~11:30
3西病棟	9:00~11:30
4東病棟	13:30~16:00
4西病棟	13:30~16:00
5東病棟	9:00~11:30

これ以外の時間でも、必要に応じて病棟に行っています。



## 顔の見える薬剤師へ

これまで薬剤師は、調剤室や注射補給室という部屋にすることが多く、患者さんから顔の見えない存在になりがちでした。

今後、こうした病棟常駐業務を中心として、より患者さんに接することで、薬が適正に使用されるように努力していきます。薬のことでご不明な点がありましたら、お近くの薬剤師にご相談ください。

外来患者さんで、ご不明な点がある時は、会計横の「薬お渡し口」にいる薬剤師にお声かけください。

♪ お問い合わせ先 薬剤科 内線(2130) ♪

♪ ご希望の方には『多摩南ミニ通信』を面会受付でお渡ししております。 ♪